

子どもたちの未来へ贈る 竜王2030プロジェクト
～子どもと暮らす喜びを実感できるまちづくり～



- 目標① ふるさとへの愛着を育む質の高い**教育**の創出
- 目標② **子育て**世代が安心して暮らせる環境の創出
- 目標③ **健康**で多世代が交流できる**にぎわい**空間の創出
- 目標④ 魅力ある**農業**や**商工業**の発信
- 目標⑤ 若い世代と子育て世代の**定住**の促進
- 目標⑥ 安全安心な**防災**機能の向上
- 目標⑦ 利便性の高い**生活**関連サービスの提供

- 目標① 若い世代が定住できる環境づくり
- 目標② 高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくり
- 目標③ 持続可能な自治会づくり

- | 若い世代 | 高齢者 | 自治会 |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 子育て環境の充実 魅力ある教育の推進 住宅地の確保 働く場の創出 経済的支援の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸 地域の支え合いや移動支援の充実 生きがいや居場所づくり 結婚や仕事等で他所に居住している家族との繋がり維持 | <ul style="list-style-type: none"> 地域行事や役員にかかる負担感の軽減 女性や若い世代の活躍 多世代の交流 地域間連携の構築 |

- 目標① 移動しやすい**交通**ネットワークの整備
- 目標② 中心核と地域を結ぶ**道路**ネットワークの整備
- 目標③ 町役場と地域の**情報**ネットワークの整備

- | 交通ネットワーク | 道路ネットワーク | 情報ネットワーク |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 路線バスの利用促進 ● 新たな移動手段の確保 ● お出かけ支援の普及 | <ul style="list-style-type: none"> ● 生活道路と幹線道路のすみ分け ● 安全な歩道等の整備 ● 適正な道路・橋梁の維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> ● 防災や生活情報の発信 ● ページング放送（地域放送）の活用 ● 行政と自治会との情報連携 |

■交流・文教ゾーンの整備
(新小学校の建設を最優先)



The diagram illustrates the 'Traffic Plan (R1~)' with a central 'Town Office' (町役場) in a pink circle. It is connected by red arrows to several surrounding facilities: a 'Clinic' (診療所) with a doctor, a 'Supermarket' (スーパー) labeled 'Super Market', a 'Train Station' (鉄道駅) with a train, a 'Road Station' (道の駅) with a bus and car, and a 'Local Area' (地域) with houses. A large purple arrow points from the 'Traffic Plan' towards the 'Actual Operation (R2~)'.

竜王町コンパクトシティ化構想

中心核「交流・文教ゾーン」整備に係る経過と今後のスケジュール

令和2年	7月	竜王町コンパクトシティ化構想策定
令和4年	2月	輝竜の郷づくり懇談会開催
	6月	交流・文教ゾーン整備に伴う造成・道路詳細設計（～R5.3）
令和5年	2月	竜王小学校建設基本設計実施設計（～R6.3）
	10月	土地収用法による事業認定、用地取得
	11月	町道綾戸橋本西線道路改築工事（～R8.3）
令和6年	3月	交流・文教ゾーン造成工事（～R7.4）
	10月	竜王小学校建設工事（～R8.7 予定）
令和7年	6月	竜王小学校学区学童保育所建設工事（～R8.3 予定）
	8月	まちづくり住民懇談会開催

●整備スケジュール

施設名		令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)	令和14年度 (2032年度)
造成工事 道路工事	変更なし	整備	■令和8年4月供用開始						
竜王小学校	見直し前	建築							
	見直し後	建築・開校準備	■令和8年9月開校						
学童保育所	見直し前	建築							
	見直し後	建築	■令和8年9月開所 (小学校開校に合わせる)						
公園	見直し前		整備						
	見直し後	実施設計	整備		■令和10年3月 供用開始				
学校給食 センター	見直し前				建築				
	見直し後	基本計画	基本設計 実施設計	建築		■令和11年4月供用開始			
コミュニティ センター	見直し前		建築						
	見直し後	検討			基本設計 実施設計	建築	■令和13年4月供用開始		
竜王こども園	見直し前			整備					
	見直し後	検討			基本計画 基本設計	実施設計	建築	■令和14年 4月開園	



※供用開始時期は現時点での予定です。

●整備費用

		見直し後	見直し前
竜王小学校建築		43.6億円	42.1億円
その他施設建築 ※学童保育所、学校給食センター コミュニティセンター、竜王こども園		29.7億円	19.0億円
公園整備、道路・造成・上下水道工事		22.0億円	16.0億円
用地取得		5.9億円	5.9億円
総整備費用		101.2億円	83.0億円
財源内訳	国・県補助金	23.5億円	15.8億円
	地方債(借入金)	58.7億円	50.1億円
	一般財源(基金充当含む)	19.0億円	17.1億円



「交流・文教ゾーン」整備状況(令和7年8月22日撮影)

令和 8 年度 (2026 年度) 当初予算案（一般会計）の概要

歳入歳出予算総額：99億9,000万円

（対前年度22億3,000万円（18.2%）減）

（単位：百万円）

	R4(2022 年)	R5(2023 年)	R6(2024 年)	R7(2025 年)	R8(2026 年)
当初予算額	6,729	7,108	9,100	12,220	9,990
対前年度伸び率	12.2%	5.6%	28.0%	34.3%	△18.2%

『まちの中心核整備から未来をひらく予算』

令和 8 年度は、新たな竜王小学校の開校および学童保育所の開所を迎え、本町における最重要プロジェクトである中心核整備事業のうち、交流・文教ゾーンがいよいよ供用開始となる年度です。本エリアのオープンは、教育環境や子育て支援の充実にとどまらず、町民の皆様の交流を促し、新たなにぎわいを生み出す起点となるものであり、まちの中心から未来へと広がるまちづくりの第一歩となります。

一方で、物価高騰や社会保障関係経費の増大などにより財政運営は引き続き厳しい状況にあります。確かな財源の確保に努め、事業の優先順位や実施時期を慎重に見極めながら、「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」、「次世代に誇れるまち竜王町」づくりの実現をめざし、令和 8 年度当初予算案を『まちの中心核整備から未来をひらく予算』と位置づけ、一般会計の歳入歳出予算総額を **99 億 9,000 万円（対前年度比 18.2% 減）** としています。

歳出（主なもの）

1 活力あふれるまちづくり ～発展・進化を生み出す豊かさの創造～

（1）中心核整備およびコンパクトシティ化構想のさらなる推進

①交流・文教ゾーンオープン記念事業 600 万円【新規】

（担当課：商工観光課）

新竜王小学校の開校および新学童保育所の開所により、交流・文教ゾーンがオープンとなることを踏まえ、従来の夏まつり開催時期にあわせてオープンイベントを開催します。

〔内容〕交流・文教ゾーンオープン記念事業補助金 600 万円

②新竜王小学校開校に向けた準備 2,502 万円【継続】

（担当課：教育総務課）

新竜王小学校の円滑な開校に向け、管理運営に必要な備品や ICT 関係備品の整備を進め、教育環境および校務環境の充実を図ります。

〔内容〕ネットワーク整備関係 151 万円 役務費等 169 万円

備品関係 811 万円 ICT 備品関係 1,371 万円

③「交流・文教ゾーン」公園整備・共用駐車場等の整備 4億2,702万円【新規】

(担当課：中心核整備課)

令和9年度の供用開始をめざし、防災機能を備えた公園の整備工事に着手するとともに、共用駐車場等の整備を進めます。

〔内容〕 公園整備工事 3億9,302万円 共用駐車場整備工事 3,000万円
ポケットパーク整備工事 400万円

④「居住ゾーン」整備に向けた事業者募集等 100万円【継続】

(担当課：未来創造課)

中心核整備における居住ゾーンの整備に向け、開発に意欲を示す民間事業者を募集し、事業の具体的な検討を開始します。

〔内容〕 居住ゾーン整備業務委託料 100万円

(2) 地域農業の持続的な発展

①農業生産基盤整備の戦略的推進 300万円【新規】

(担当課：農業振興課)

農業振興ビジョン実施計画（令和5年5月）における重点プロジェクト「ほ場や土地改良施設の整備」の推進に向け、経営効率の高い農地の大区画化や省力化に資する基盤整備、老朽化した用排水路等の更新を含め、令和8年度内に関係者の意見を踏まえた今後の農業生産基盤整備の方向性および戦略の検討に取り組みます。

〔内容〕 農地の大区画化等基盤整備戦略策定支援業務委託料 300万円

②竜王らしい農村環境の整備および担い手の確保・育成 7,160万円【継続】

(担当課：農業振興課)

環境保全や防災など農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援します。また、地域計画の実現に向けた農業用機械等の導入支援、集落営農組織の持続的な発展を支援します。さらに、農業の担い手確保や育成のため、新規就農者への支援を行います。

〔内容〕 多面的機能支払交付金事業 4,399万円 青年就農支援助成金 420万円
町農業経営・生産対策推進会議補助金 72万円
集落営農活性化プロジェクト促進事業補助金 469万円
農地利用効率化等支援交付金 1,800万円

③需要につながる特色のある「竜王」農産物の生産と産地づくり 660万円【拡充】

(担当課：農業振興課)

本町の魅力ある農業を推進するため、農業振興ビジョンに基づくスマート農業の導入や果樹の生産力向上に対する支援に加え、新たに直売所への出荷促進等に対する支援を行います。

〔内容〕 魅力ある農業の創生事業補助金 660万円

④耕・畜・工連携によるバイオマス資源の循環 1,515 万円【拡充】

(担当課：農業振興課)

竜王町バイオマス産業都市構想に基づく耕・畜・工の連携によるバイオマス資源の地域内循環を実現するため、近江牛の排せつ物等を活用したメタン発酵バイオ液肥・堆肥の実証や、エネルギー作物の試験的な栽培、先進農業センター整備に係る検討などを行います。

〔内容〕 耕・畜・工連携バイオマス資源循環事業 1,515 万円

(3) 地域産業の振興および企業立地の推進

①産業用地整備に向けた基礎調査および開発手法の検討 520 万円【新規】

(担当課：商工観光課)

民間開発による産業用地整備を図るため、候補地に係る基本情報の調査および開発手法の検討を行い、企業立地に向けた環境整備を進めます。

〔内容〕 企業誘致実施支援業務委託料 520 万円

②企業間連携の促進と町内企業の情報発信強化 330 万円【新規】

(担当課：商工観光課)

町内企業アンケート等により把握した人材確保をはじめとする共通課題を踏まえ、企業間連携の促進を図るとともに、企業紹介パンフレットの作成等を通じて町内企業情報の発信を強化します。あわせて、町内企業で働く方に向けたパンフレットを作成し、本町の魅力や暮らしやすさを発信し、本町への関心や親しみを深めていただくことにより、地域への理解や定住の促進につなげます。

〔内容〕 企業・町紹介パンフレット等作成業務委託料 330 万円

(4) 道路ネットワークの強化と地域交通の充実

①安全で持続可能な道路ネットワークの整備 1 億 2,082 万円【拡充】

(担当課：建設計画課)

町道の舗装修繕や橋梁の修繕等による長寿命化を図ることで通行の安全を確保するとともに、道路ストックマネジメント計画を新たに策定し、道路施設の老朽化対策および計画的な維持管理を推進します。また、町道山面鏡西線整備については、用地取得や関係者との調整を進め、事業の着実な推進を図ります。

〔内容〕 橋梁長寿命化修繕工事 4,300 万円 町道道路改良・舗装他工事 1,400 万円

町道維持修繕工事 3,350 万円 土地取得費 2,282 万円

道路ストックマネジメント計画策定業務委託料 750 万円

②幹線交通および地域内交通の維持・確保と利用促進 6,007 万円【継続】

(担当課：未来創造課・福祉課)

幹線交通および地域内交通の維持・確保を図るとともに、公共交通の利便性向上と利用定着に向けた取組を推進します。マイナンバーカードと ICoca を連携させた公共交通利用促進事業については、JR 西日本と連携し、ポイント還元を含めた取組を継続します。また、通学定期補助についてはオンライン申請（アイコンパス）の活用を進め、制度の周知および利用促進を図ります。あわせて、夜間特別便の運行や「チョイソコリゅうおう」の運行、路線バス事業者への補助を継続するとともに、福祉有償運送への支援を通じて、地域の移動手段の確保に努めます。

〔内容〕 公共交通利用促進業務委託料 509 万円
通学定期補助金 1,022 万円 夜間特別便運行業務委託料 300 万円
竜王町地域公共交通活性化協議会負担金（チョイソコリゅうおう関係）1,308 万円
コミュニティバス運行委託補助金 1,133 万円 生活交通路線維持費補助金 1,591 万円
福祉有償運送事業補助金 144 万円

（５）定住促進の実現などに向けた町の魅力発信とふるさと納税の推進

①まちの魅力発信と定住・移住の促進 726 万円【継続】

（担当課：未来創造課・健康推進課・建設計画課）

定住人口の獲得をめざすため、町の魅力を内外に発信するシティプロモーションを継続して実施します。また、若者定住のための住まい助成、転入した子育て世帯に対する町独自の給付金制度、新婚夫婦の新生活を応援するための住宅費用やリフォーム費用および引越費用の助成を実施します。さらに、将来的な定住や子育てにつながる出会いの機会を創出するため、町内で婚活支援に取り組む団体に対し、婚活支援事業補助金による支援を行います。

〔内容〕 シティプロモーション事業 101 万円 若者定住住まい補助金 500 万円
こども新生活応援給付金 45 万円 新婚生活支援事業補助金 60 万円
婚活支援事業補助金 20 万円

②ふるさと納税の推進 8 億 6,161 万円【拡充】

（担当課：商工観光課・未来創造課）

町内の特産品を掘り起こすとともに、新規の返礼品開発等に努め、町の知名度の向上および観光振興等につなげます。

〔内容〕 ふるさと納税推進費 8 億 6,139 万円 企業版ふるさと納税関係費 22 万円
※寄附実績：令和 5 年度 4 億 8,021 万円、令和 6 年度 15 億 558 万円、
令和 7 年度（見込）22.5 億円、令和 8 年度（見込）15 億円

2 安心して暮らせるまちづくり ～次世代に引き継げるやさしさの創造～

（１）子育て支援施策のさらなる推進

①小中学校の給食費無償化 4,963 万円【継続】

（担当課：学校給食センター・教育総務課）

子育て世帯の経済的支援のため、小中学校の給食費の無償化ならびに町外の小中学校等に通学する児童や生徒の給食費について補助を継続します。

〔内容〕 小中学生の給食費無償化 4,827 万円 小中学校給食費補助金 136 万円

②こどもの医療費無償化 6,350 万円【継続】

（担当課：住民課）

子育て世帯の経済的支援のため、乳幼児から高校生までの医療費について、各制度に基づき助成を行います。

〔内容〕 福祉医療費助成事業 6,350 万円

③妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援 2,177 万円【継続】

(担当課：健康推進課・教育総務課)

妊産婦、子育て世帯、こどもに対して児童福祉と母子保健が連携した切れ目のない支援を行うため、こども家庭センターを中心に相談支援体制の充実を図るとともに、子育て世帯訪問支援事業を通じた伴走型支援を推進します。また、こどもひろばの利用実績のある生後6か月から3歳到達年度末までの在宅児童を対象とした一時預かり事業を継続し、在宅で子育てを行う家庭の負担軽減を図ります。さらに、病児保育事業および令和8年4月から全国で開始される「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）」については、竜王こども園において実施し、安心して子どもを預けられる環境を整備します。加えて、子育て世帯への支援として、妊婦のための支援給付金、就学前児童誕生日祝金、こども新生活応援給付金等を実施し、子育て世帯の負担軽減を図ります。

〔内容〕一時預かり事業 478 万円 病児保育事業 645 万円 妊婦支援交付金 625 万円
就学前児童誕生日祝金 384 万円 こども新生活応援給付金 45 万円（再掲）

（２）地域で支える健康・福祉のまちづくりの推進

①いつまでも元気でいられる地域づくりの推進 9,165 万円【継続】

(担当課：健康推進課・福祉課)

健康推進員をはじめとした地域の健康づくりリーダーと連携し、健康いきいき竜王 21 プランに掲げた「りゅうおう健康ベジ7チャレンジ」の取組を継続するとともに、各種がん検診や予防接種を適切に実施します。また、高齢者の介護予防や社会参加につながるよう、介護予防拠点施設の運営を行います。

〔内容〕健康づくり推進（りゅうおう健康ベジ7チャレンジ）事業 115 万円
健康増進事業 1,235 万円 後期高齢者健診事業 825 万円
予防接種事業 5,998 万円 結核健診事業 297 万円
ふれあいプラザ管理費 695 万円

②地域まるごと包括的支援の推進 2,429 万円【継続】

(担当課：福祉課・自立支援課・健康推進課)

孤立、貧困、疾患等、各世帯が抱える複合的な困りごとに対し、行政、関係機関および地域住民が連携して受け止め、伴走し、解決につなげるための包括的な総合相談や地域づくりを推進します。

〔内容〕地域力強化推進事業委託料 1,100 万円 相談支援事業委託料 626 万円
地域子育て支援拠点事業委託料 703 万円

（３）たくましく生き抜く力を育む学校教育の推進

①確かな学力を育む教育の充実 760 万円【継続】

(担当課：学校教育課)

子どもの学力把握や学ぶ力の向上を図るため、町独自施策として総合学力調査を実施するとともに、町独自の取組である「徹底反復学習」については、学ぶ力と生きて働く基礎学力の向上をめざし一層の充実に努めます。また、英語教育については、こども園、小学校、中学校の系統性を一層重視するとともに、英語に慣れ親しむ機会を拡大するなど、さらなる充実を図ります。

〔内容〕生きて働く基礎学力定着事業 59 万円、英語教育推進事業 589 万円
小学校・中学校学力向上推進事業 112 万円（小 49 万円、中 63 万円）

②教育施設および教育環境の計画的な整備と充実 2億7,683万円【拡充】

(担当課：教育総務課)

安心で快適な教育環境を提供するため、計画的な校舎・園舎等の改修や修繕を行うとともに、新竜王小学校の開校に向けて、新規購入備品の調達や移転準備を進めます。また、GIGA スクール構想に基づく学習用端末等の更新を行います。さらに、児童の健康と安全を最優先に、熱中症対策として徒歩で通学する小学生に対する支援を実施します。

〔内容〕 竜王小学校管理運営費 2,578 万円（新竜王小学校開設準備関係経費含む）

竜王西小学校管理運営費 1,853 万円 竜王中学校管理運営費 3,227 万円

幼稚園型認定こども園管理運営費 1 億 1,326 万円

GIGA 端末更新関連費 8,562 万円 通学安全対策事業（熱中症対策給付金）137 万円

③教職員一人ひとりの教師力、学校・園全体の組織力の向上 1,758 万円【拡充】

(担当課：学校教育課)

教職員が授業研究や児童生徒と向き合える時間を確保して教育活動を充実させるとともに、教職員の働き方改革の進展を図るため、スクール・サポート・スタッフ、学校支援マネージャー、部活動指導員等の配置や増員により、学校の支援体制の充実を図ります。

部活動の地域移行・地域展開に向けた取組については、将来的な本格移行を見据え、関係団体や地域人材と連携しながら、持続可能な運営体制の構築に向けた検討および取組を進めます。

〔内容〕 学校現場業務改善推進事業 1,386 万円

教職員の指導力・資質向上事業 42 万円

地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業 330 万円

④多様な学びを支える支援体制の充実 190 万円【拡充】

(担当課：学校教育課)

学校に通うことが困難な児童生徒一人ひとりの状況に応じた多様な学びの機会を確保するため、教育支援ルーム事業において支援員等の配置による支援体制の充実を図るとともに、フリースクールを利用する児童生徒の保護者負担軽減を目的とした補助を実施し、安心して学び続けられる環境の確保と社会的自立につながる支援の充実を図ります。

〔内容〕 教育支援ルーム事業 97 万円 フリースクール利用児童生徒支援事業 93 万円

(4) 豊かな人生を自ら切り拓いていくための資質や能力を育む社会教育の推進

①全ての人が主人公を演じる生涯学習の推進 9,229 万円【継続】

(担当課：公民館・図書館・生涯学習課)

地域の人材育成の拠点として、「つどう・まなぶ・むすぶ」を実践する公民館において各種講座を開催するとともに、図書館では幅広い世代の学びと交流の場として読書活動の推進や資料の充実に努めます。また、新竜王小学校の建設過程を記録した写真展示を行い、整備の歩みを町民と共有します。あわせて、社会教育関係団体の活動を協働により支援します。さらに、国民スポーツ大会のレガシー事業として、記念大会（(仮称)ボルダーチャレンジカップ）や小学生向けボルダー教室を実施し、スポーツに親しむ機会の創出と競技人口の裾野拡大に取り組みます。

〔内容〕 公民館管理運営費 3,672 万円 公民館教室・講座開設事業 47 万円

図書館管理運営費 5,152 万円 社会教育関係団体補助事業 351 万円

(仮称)ボルダーチャレンジカップ関係費用 7 万円

②文化の振興と文化財保護・活用の充実 3,355 万円【拡充】

(担当課：生涯学習課・公民館)

町文化協会と連携し、「自主活動団体」の活動の充実と発展に取り組み、地域文化の継承と振興を図ります。また、町内の文化財については、開発と保護の調和に留意しながら適切な保存・活用を進めるとともに、文化財を地域全体で計画的に保存・活用していくため、令和8年度から3か年で文化財保存活用地域計画の策定に取り組みます。あわせて、重要文化財である苗村神社境内社十禅師社本殿等の保存修理事業を実施し、貴重な文化財の保存に努めます。

〔内容〕文化団体育成補助金 1 万円 文化財保存活動事業 672 万円

埋蔵文化財発掘調査受託事業 1,981 万円

埋蔵文化財緊急発掘調査事業 685 万円 文化財普及啓発事業 16 万円

(5) 地域防災力の向上と交通安全対策の推進

①農業用ため池の災害リスク低減 2,300 万円【拡充】

(担当課：農業振興課)

近年の地震・豪雨等によりため池が決壊し、下流域の人家等に大きな被害をもたらす事例が頻発していることから、地震に対するため池の耐震性能の診断を行うとともに、ため池決壊を未然に防止するための工事を行います。

〔内容〕荒池改修事業計画策定業務 300 万円

谷の上池（山面）廃止工事 2,000 万円

②地域防災体制の総合的な強化 1,090 万円【拡充】

(担当課：生活安全課)

地域防災力の強化を図るため、消防施設や小型動力ポンプなどの消防設備の更新・整備を行います。あわせて、竜王町備蓄計画に基づき災害時に必要となる備蓄品を計画的に確保し、更新時期を踏まえた適切な入替えを行いながら段階的な増数を進めるなど、効率的な備蓄体制を構築します。さらに、地域防災の担い手育成のため、防災士資格取得に係る取組を推進します。

〔内容〕消防施設管理事業 270 万円 小型動力ポンプ整備事業 500 万円

防災資機材整備事業（災害時用備蓄品関係）312 万円

防災士資格取得関係費 8 万円

③交通安全対策の推進 396 万円【継続】

(担当課：生活安全課・建設計画課)

交通安全意識の向上を図るため、自転車用ヘルメットの購入補助を行うとともに、危険箇所について関係機関と連携しながら交通安全施設の整備を推進します。

〔内容〕交通安全指導員設置費 57 万円 交通安全施設等維持修繕費 96 万円

交通安全啓発活動事業 43 万円（自転車用ヘルメット購入補助金 5 万円含む）

交通安全施設整備事業 200 万円

3 みんなで進めるまちづくり ～新たな時代に対応したつながりの創造～

(1) 人権尊重の推進、地域コミュニティの活性化

①明るく住みよいまちづくりをめざす人権教育の推進 168 万円【継続】

(担当課：未来創造課・商工観光課・生涯学習課)

一人ひとりの人権を尊重し合うことで、誰もが住みよいまちづくりの実現に向けた取組として、じんけんを考えるみんなのつどい、じんけん学びあいセミナー、地区別懇談会などを開催します。

〔内容〕 人権政策推進事業 65 万円 企業内人権問題研修事業 24 万円

人権教育・啓発事業 20 万円 竜王町人権教育推進協議会補助金 59 万円

②自治会活動への支援と地域コミュニティの活性化 2,675 万円【継続】

(担当課：未来創造課・総務課)

地域住民の地域課題解決への主体的取組ならびに個性的で魅力ある地域の形成と協働によるまちづくり意識の向上を図るため、自治会が行う事業に対し助成を行います。また、地域コミュニティの維持・活性化に向け、自治会活動の実態把握およびコミュニティセンター整備に関するアンケート調査等を実施し、地域ニーズを的確に把握した上で、今後の施策立案や施設整備の方向性に反映させます。

〔内容〕 未来へつなぐまちづくり交付金 1,602 万円

コミュニティ助成事業補助金 940 万円

地域コミュニティ維持・活性化事業 133 万円

(2) デジタル技術を活用した行政サービスの推進 2 億 8,493 万円【拡充】

(担当課：未来創造課)

本町が担う行政サービスについて、生成 AI や DX ツールの活用などデジタル技術およびデータの活用により住民の利便性向上と業務の効率化を図り、限られた人的資源をより質の高い行政サービスへ振り向けるための基盤整備を進めます。また、県内 6 町で共同運営する行政事務システムのリプレースにあわせ、国が推進する行政システムの標準化およびガバメントクラウドへの移行を着実に進めます。

〔内容〕 電算一般管理費 2,598 万円

基幹系システム開発・管理事業 2 億 1,081 万円

(6 町クラウドシステム利用料、行政情報システム標準化システム移行業務委託料、

ガバメントクラウド利用料、ガバメントクラウド運用補助管理業務等)

情報系システム開発・管理事業 4,814 万円

(RPA ライセンス、AI 議事録、AI-OCR、生成 AI サービス、ペーパーレスシステム等)

(3) 持続可能な行政運営を支える人材育成のさらなる推進 656 万円【戦略的拡充】

(担当課：総務課)

行政課題の複雑化・多様化に対応できる人材を育成するため、「人への投資」の観点から職員研修を拡充し、職員がキャリアや関心に応じて選択できる「選択型研修」を導入し、主体的な学びを促進します。また、研修成果については報告会等を通じて庁内で共有し、学びを組織全体へ波及させることで、組織全体の対応力および政策形成能力の強化につなげます。

〔内容〕 職員一般研修事業 656 万円 (前年度比 492 万円増)

歳出（目的別・性質別）

歳出（目的別）

①議会費 7,976 万円（93 万円、1.2%増）

費用弁償（議員研修事業）等が増加しました。

②総務費 25 億 67 万円（5 億 4,727 万円、28.0%増）

中心核整備推進業務委託料（公園設計関係）1,975 万円、コミュニティ助成事業補助金 1,890 万円等が減少したものの、交流・文教ゾーン造成工事（公園整備等）2 億 6,021 万円、ふるさと納税業務委託料 2 億 3,545 万円および手数料 5,115 万円、6 町クラウドシステム利用料 5,077 万円等が増加しました。

③民生費 21 億 3,458 万円（2 億 9,536 万円、12.2%減）

東近江圏域共同事業委託料 6,270 万円（令和 8 年度は本町が幹事のため、東近江市、近江八幡市および日野町からの負担金を原資に本町から委託先に一括支払）、自立支援給付費 4,000 万円、福祉医療扶助費 1,338 万円等が増加したものの、学童保育所建築工事 3 億 3,163 万円、福祉ステーション改修工事 7,507 万円等が減少しました。

④衛生費 5 億 3,796 万円（1,181 万円、2.2%増）

ワクチン接種委託料 192 万円等が減少したものの、中部清掃組合負担金 1,395 万円、八日市布引ライフ組合（衛生）負担金 449 万円等が増加しました。

⑤農林水産業費 4 億 1,806 万円（3,157 万円、8.2%増）

下水道事業補助金（農業集落排水事業繰出）1,554 万円、ため池整備設計業務委託料 600 万円、ため池詳細調査（耐震）業務委託料 600 万円等が減少したものの、土地改良施設等維持補修工事（惣四郎川樋門設備改修工事）2,980 万円、ため池廃池等整備工事（谷の上池（山面）廃止工事）1,600 万円等が増加しました。

⑥商工費 9,078 万円（1,477 万円、19.4%増）

会計年度任用職員の人件費 414 万円等減少したものの、土地取得特別会計繰出金（ワコール跡地取得にかかる償還金分）633 万円、交流・文教ゾーンオープン記念事業補助金 600 万円、小規模経営振興指導事業補助金（商工会）300 万円等が増加しました。

⑦土木費 8 億 9,572 万円（1 億 211 万円、12.9%増）

町道道路改良・舗装他工事 2,250 万円、下水道事業負担金 2,010 万円、運動公園指定管理料 1,420 万円等が減少したものの、下水道事業補助金（農業集落排水最終清掃、流域維持管理負担金、WPPP 基礎導入調査業務分等）6,792 万円、土地取得費（町道山面鏡西線関係）2,282 万円、総合運動公園施設整備（改修）工事（ドラゴンハット屋根・照明改修、受電設備更新）2,200 万円等が増加しました。

⑧消防費 3 億 2,180 万円（2,061 万円、6.8%増）

一般職人件費 283 万円等が減少したものの、東近江行政組合消防負担金 934 万円、消火栓設置工事負担金 610 万円、退団者退職報償費 330 万円等が増加しました。

⑨教育費 10 億 4,287 万円 (31 億 9,087 万円、75.4%減)

竜小教材備品 (GIGA 端末更新等) 5,323 万円、竜中管理用備品 (GIGA 端末更新等) 3,008 万円等が増加したものの、竜王小学校建築工事 28 億 2,423 万円、国民スポーツ大会実行委員会負担金 2 億 4,722 万円、第 79 回国スポーツクライミング競技施設設営等業務委託料 1 億 3,700 万円、竜王小学校建築工事監理業務委託料 7,273 万円、竜王小学校新築購入備品 3,764 万円等が減少しました。

⑩公債費 4 億 2,506 万円 (2,600 万円、6.5%増)

償還利子 (竜王小学校建設工事にかかる町債利子分) 2,343 万円等が増加しました。

⑪諸支出金 15 億 2,043 万円 (5 億 114 万円、49.2%増)

未来につなぐふるさと交竜基金積立金 5 億 539 万円等が増加しました。

歳出 (性質別)

①人件費 19 億 555 万円 (9,029 万円、5.0%増)

一般職の人件費 7,810 万円および会計年度任用職員の人件費 1,708 万円等が増加しました。

②物件費 23 億 5,701 万円 (1 億 7,263 万円、7.9%増)

第 79 回国スポーツクライミング競技施設設営等業務委託料 1 億 3,700 万円、竜王小学校建築工事監理業務委託料 7,273 万円等が減少したものの、ふるさと納税業務委託料 2 億 3,545 万円および手数料 5,115 万円、東近江圏域共同事業委託料 6,270 万円 (令和 8 年度は当番団体のため 2 市 2 町からの負担金を原資に本町から委託先に一括支出)、竜小教材備品 (GIGA 端末更新) 5,323 万円、竜中管理用備品 (GIGA 端末更新) 3,008 万円、6 町クラウドシステム利用料 5,077 万円等が増加しました。

③扶助費 11 億 4,322 万円 (4,442 万円、4.0%増)

児童手当 1,344 万円等が減少したものの、自立支援給付費 4,000 万円、福祉医療扶助費 1,338 万円等が増加しました。

④補助費等 15 億 1,821 万円 (2 億 32 万円、11.7%減)

下水道事業補助金 (農業集落排水最終清掃、流域維持管理負担金、WPPP 基礎導入調査業務分等) 6,792 万円、中部清掃組合負担金 1,395 万円、八日市布引ライフ組合 (衛生) 負担金 449 万円、放課後児童健全育成事業委託料 (単価の増額) 1,000 万円、東近江行政組合消防負担金 934 万円、交流・文教ゾーンオープン記念事業補助金 600 万円等が増加したものの、国民スポーツ大会実行委員会負担金 2 億 4,722 万円等が減少しました。

⑤繰出金 3 億 444 万円 (366 万円、1.2%増)

学校給食事業特別会計繰出金 434 万円、国保特別会計 (事業勘定) 繰出金 369 万円等が減少したものの、土地取得特別会計繰出金 (ワコール跡地取得にかかる償還金分) 633 万円、国保特別会計 (施設・医科) 繰出金 270 万円、介護保険特別会計繰出金 117 万円等が増加しました。

⑥普通建設事業費 7億9,315万円（28億6,649万円、78.3%減）

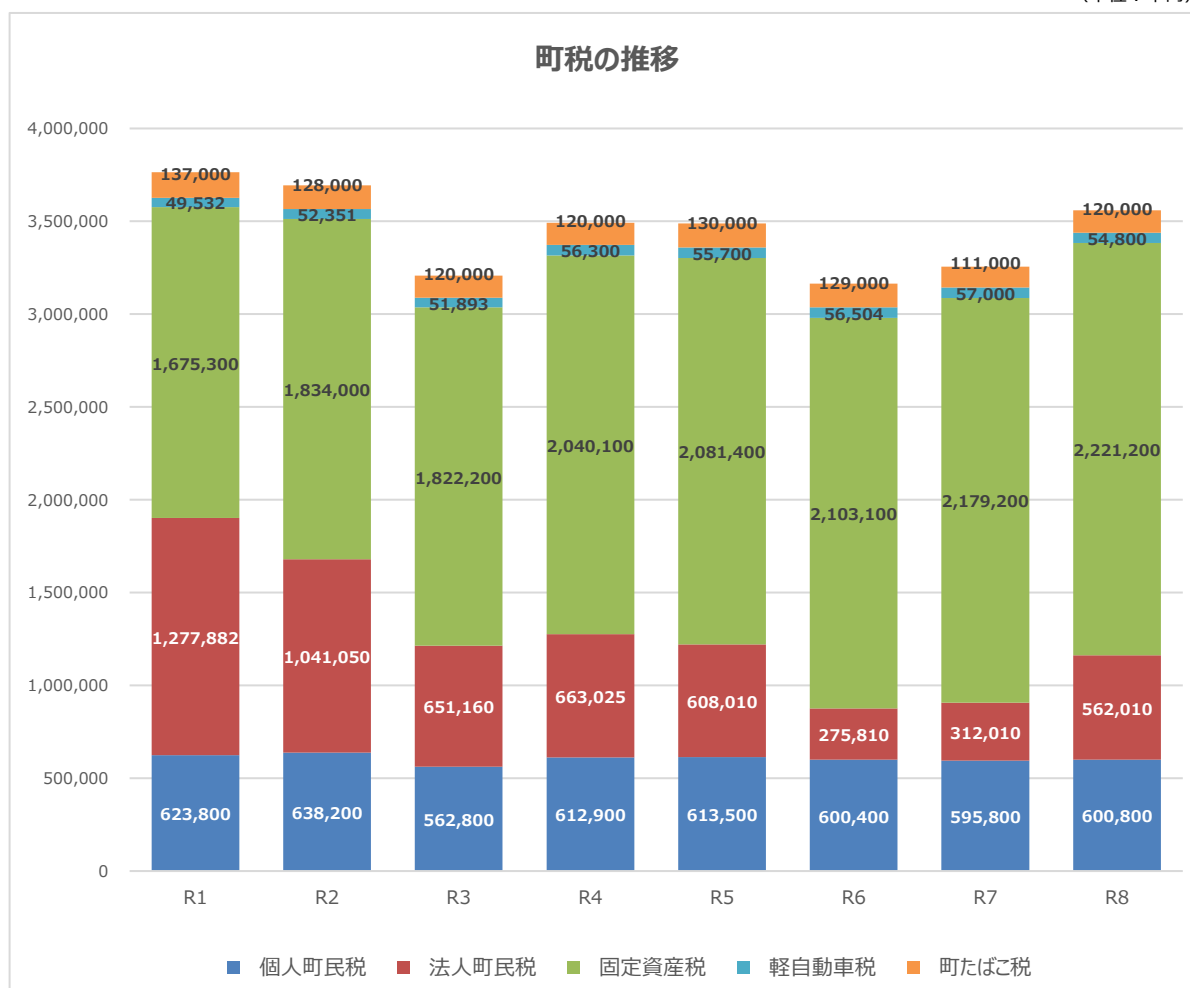
交流・文教ゾーン造成工事（公園整備等）2億6,021万円、土地改良施設等維持補修工事（惣四郎川樋門設備改修工事）2,980万円、土地取得費（町道山面鏡西線関係）2,282万円、総合運動公園施設整備（改修）工事（ドラゴンハット屋根・照明改修、受電設備更新）2,200万円、橋梁長寿命化修繕工事（野寺橋）1,810万円、ため池廃池等整備工事（谷の上池（山面）廃止工事）1,600万円等が増加したものの、竜王小学校建築工事 28億2,423万円、学童保育所建築工事 3億3,163万円、福祉ステーション改修工事 7,507万円等が減少しました。

歳入

①町税 35億5,901万円（3億380万円、9.3%増）

法人町民税 2億5,000万円、固定資産税 4,200万円、町たばこ税 900万円の増加が見込まれますが、軽自動車税環境割については、車の取得時に課される税金「環境性能割」が、令和8年3月で廃止される見込みであることから 320万円の減少を見込んでいます。

（単位：千円）



②地方交付税 2 億円（前年同額）

普通交付税については、法人町民税等の税収動向を踏まえつつも、税収見通しや国の地方財政計画の動向を勘案し、令和 7 年度当初予算と同額となる 1 億円を見込んでいます。特別交付税についても、過去の交付実績を踏まえ、前年度と同額となる 1 億円を計上しています。

年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度 (決算見込)
普通交付税	1 億 6,371 万円	不交付	1 億 2,790 万円	9,754 万円	5 億 3,444 万円
特別交付税	7,966 万円	3,573 万円	1 億 725 万円	1 億 1,368 万円	1 億円

※令和 7 年度の普通交付税は、令和 6 年度において大手自動車メーカーの生産台数減少の影響等により法人町民税法人税割が減少したことに加え、前年度に中間納付として受け入れていた税額の精算により一部還付が生じたことなどから、基準財政収入額が大きく減少したため、前年度の交付額を上回りました。

③国庫支出金 10 億 2,648 万円（4 億 4,633 万円、30.3%減）

交流・文教ゾーンの公園整備にかかる社会資本整備総合交付金（防災安全）1 億 1,206 万円、GIGA 端末更新にかかる公立学校情報機器整備費補助金 2,110 万円、自立支援給付費に係る障害者自立支援給付費負担金 2,000 万円等が増加したものの、竜王小学校建設工事に係る学校施設環境改善交付金 5 億 4,053 万円、学童保育所建設工事に係る子ども子育て支援整備交付金 5,639 万円等が減少しました。

④県支出金 6 億 3,068 万円（2 億 7,631 万円、30.5%減）

惣四郎川樋門設備改修工事に係る農業水路等長寿命化事業補助金 1,907 万円、県知事選挙費委託金 1,230 万円、県議会議員選挙費委託金 1,143 万円等が増加したものの、第 79 回国民スポーツ大会スポーツクライミング競技施設の設置に係る国スポ競技施設整備費補助金 1 億 6,235 万円、同大会の運営に係る国スポ会場地運営交付金 6,752 万円、同大会のリハーサル大会に係る国スポ競技別リハーサル大会運営費補助金 3,151 万円、学童保育所建設工事に係る放課後児童クラブ整備費補助金 5,639 万円等が減少しました。

⑤繰入金 18 億 5,555 万円（3 億 6,370 万円、16.4%減）

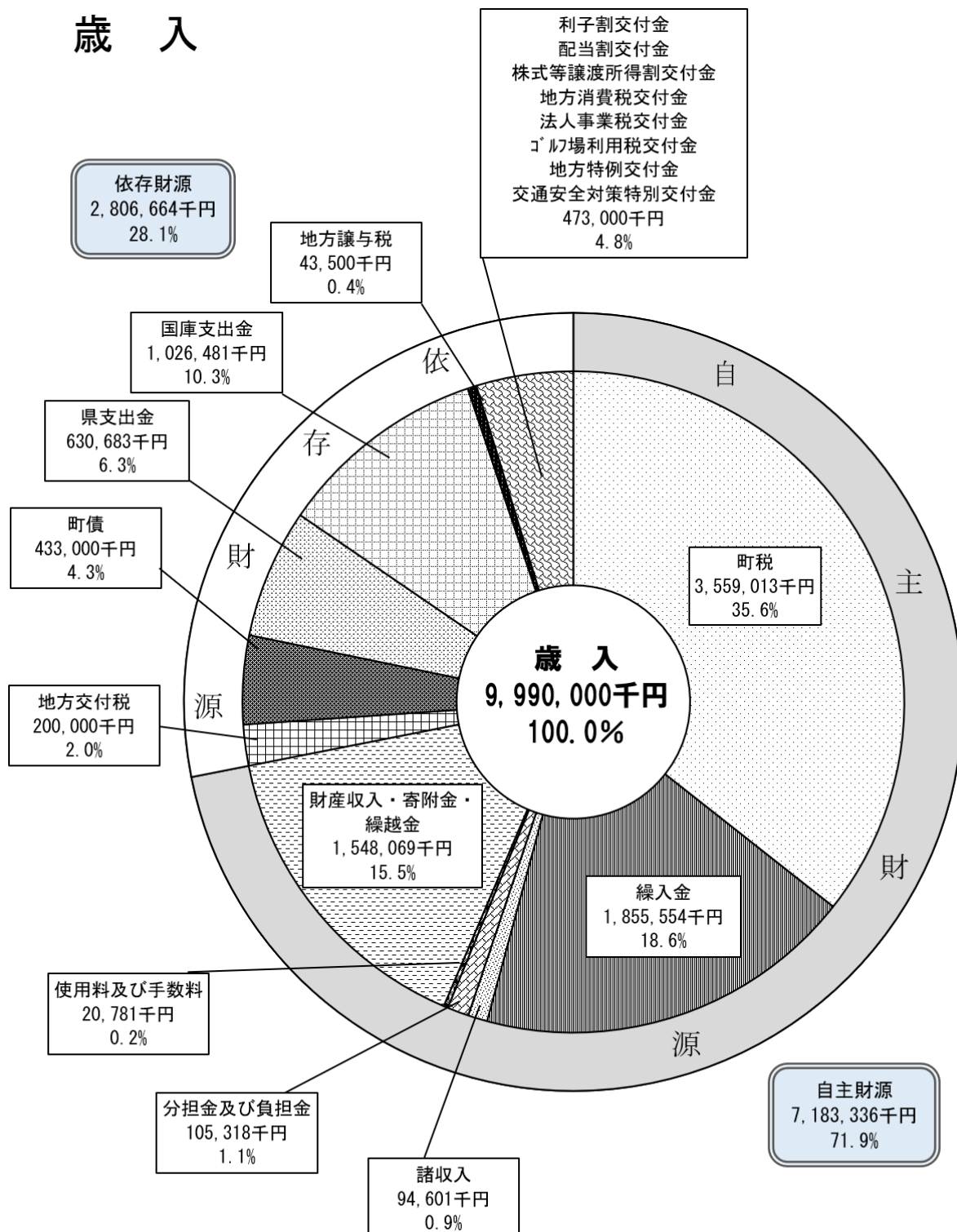
竜王小学校および学童保育所の建設工事に係る基金繰入額が減少したことから、竜王小学校改築基金繰入金 1 億 9,665 万円、教育厚生施設等基金繰入金 2 億 7,260 万円が減少し、財政調整基金繰入金についても、未来につなぐふるさと交竜基金繰入金の増加などにより、5 億 6,777 万円の減少となりました。一方で、未来につなぐふるさと交竜基金繰入金は 6 億 7,142 万円の増額となっており、基金の活用内容に応じた財源構成となっています。

⑥町債 4 億 3,300 万円（20 億 1,290 万円、82.3%減）

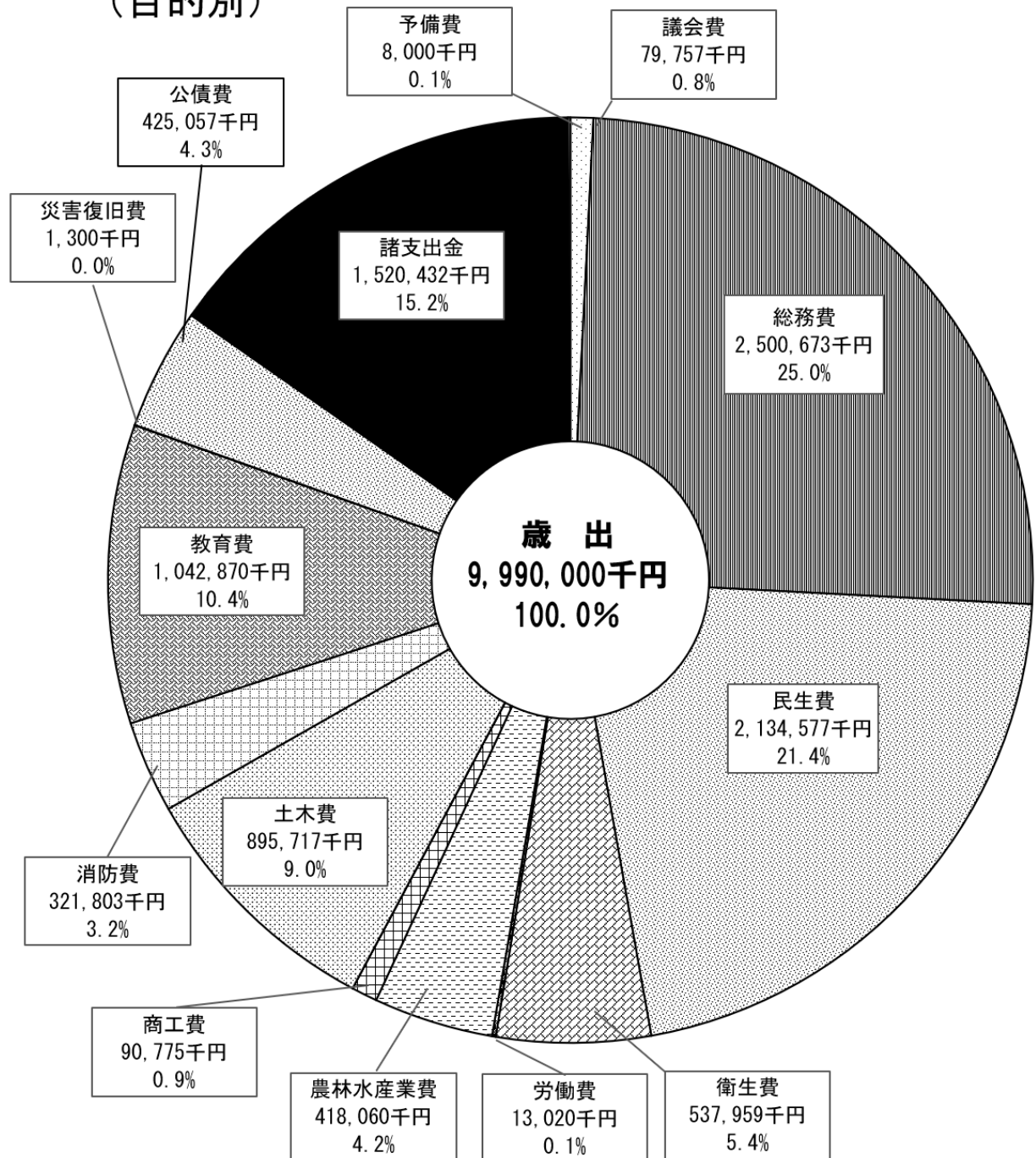
竜王小学校および学童保育所の建設工事ならびに福祉ステーション改修工事に係る町債発行額が減少したことから、中心核整備事業債 19 億 3,130 万円（竜小建設分）、児童福祉施設整備事業債（学童建設分）1 億 7,830 万円、児童福祉施設整備事業債（福祉ステーション改修分）7,020 万円等が減少したものの、交流・文教ゾーンの公園整備等にかかる中心核整備事業債 9,950 万円、GIGA 端末更新にかかるデジタル活用推進事業債 4,320 万円等が増加しました。

(歳入予算・歳出予算の内訳)

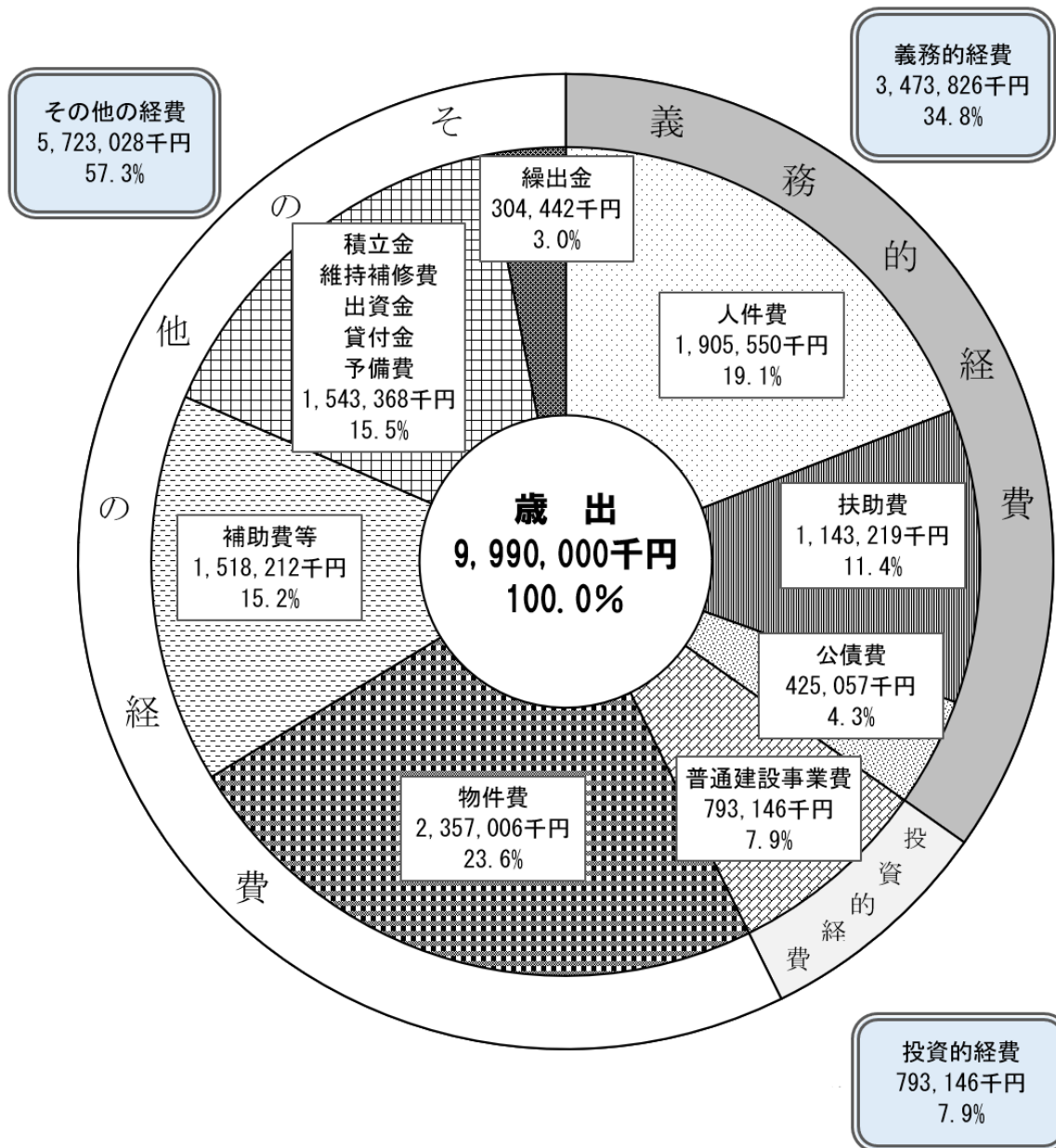
歳入



歳 出
(目的別)

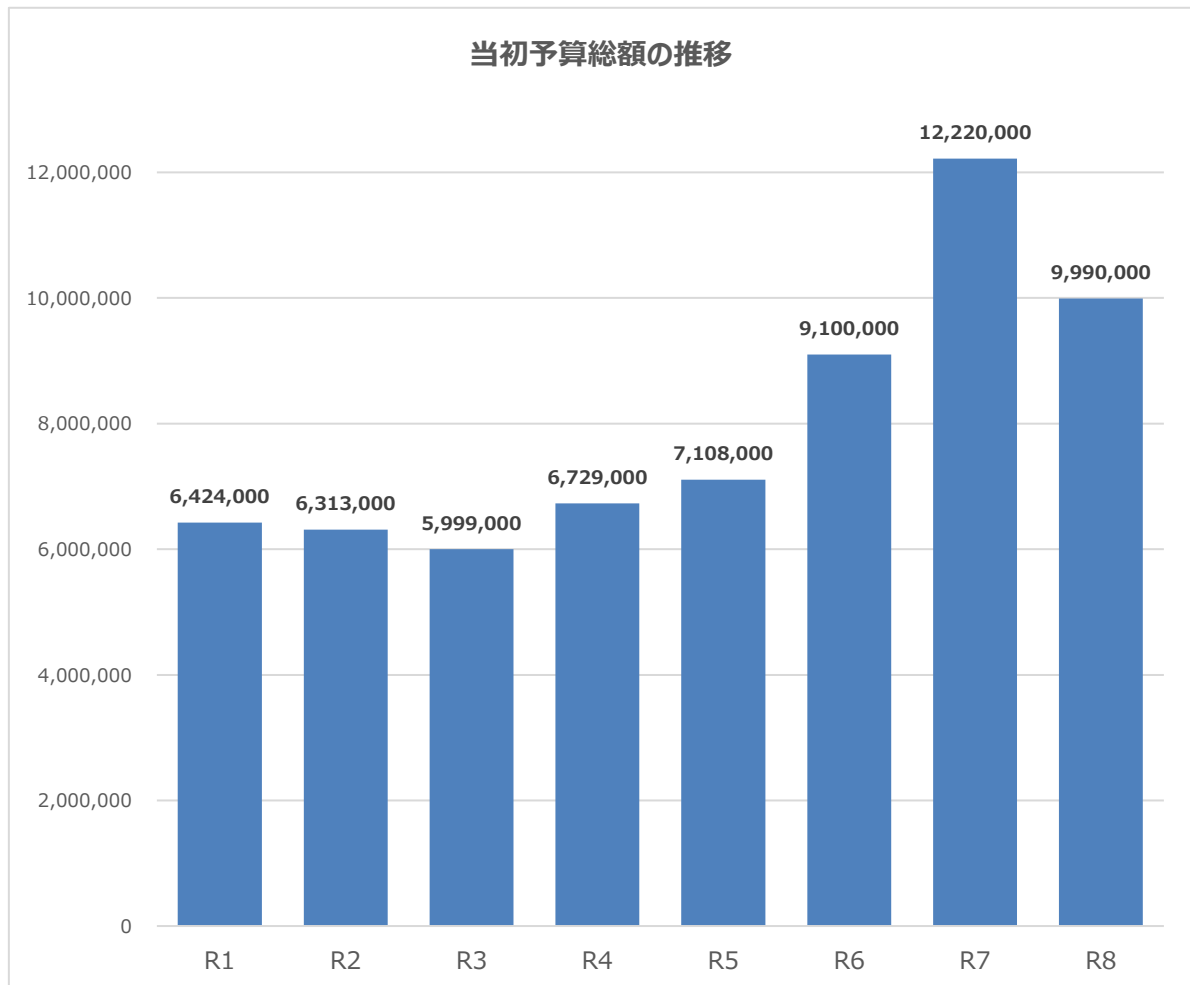


歳出 (性質別)

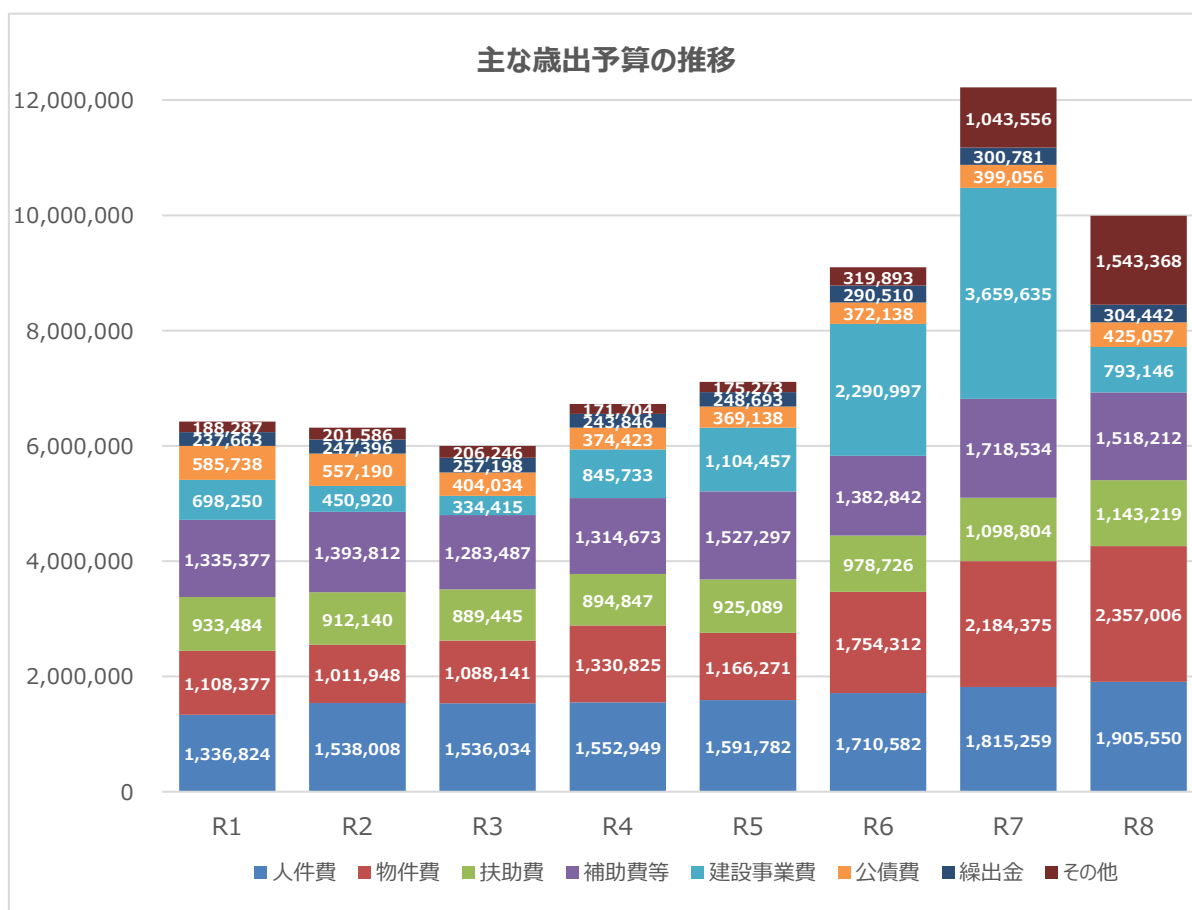
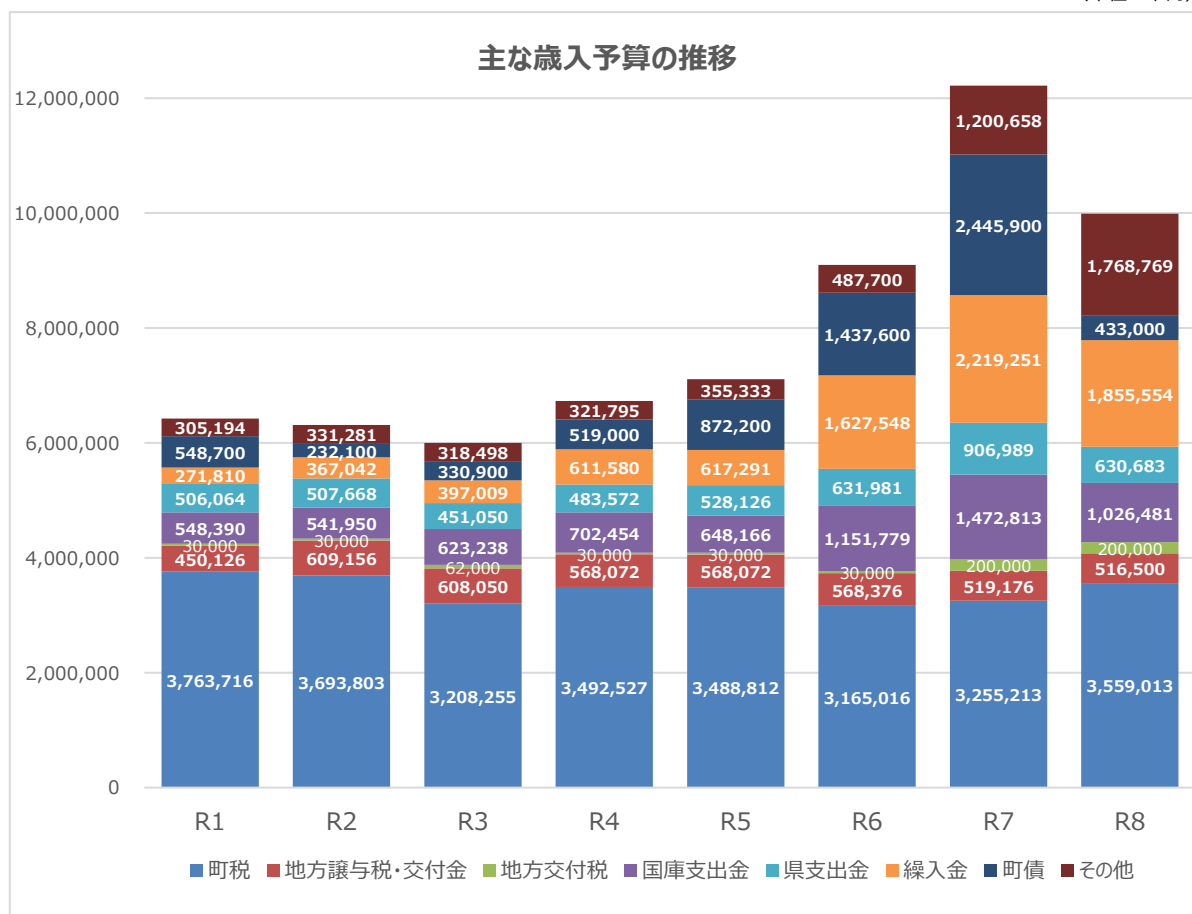


（当初予算総額・歳入予算・歳出予算の推移）

（単位：千円）



(単位：千円)



基金の残高等

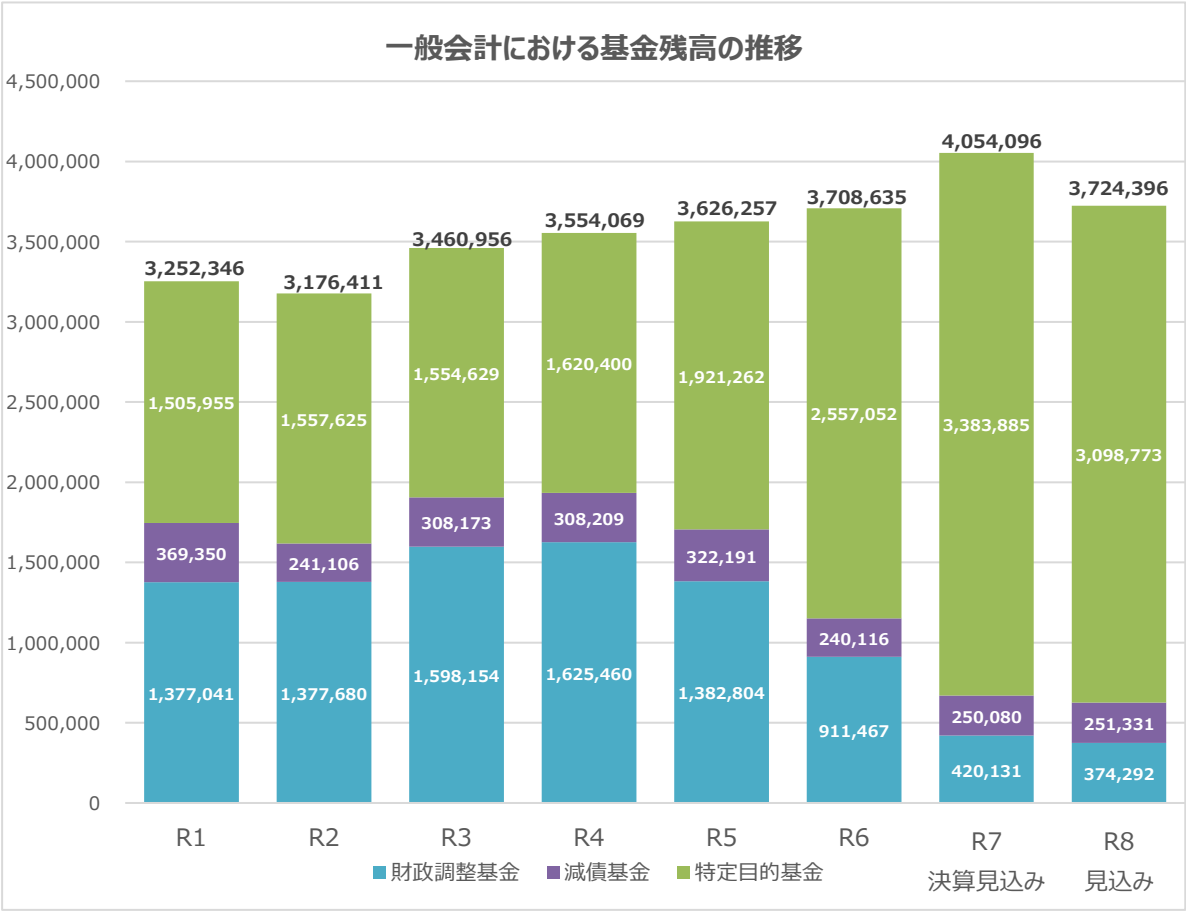
令和7年度一般会計予算は、当初において財源不足分として財政調整基金から6億1,577万円の取崩しを予定していたところですが、町税のうち法人町民税および固定資産税について当初の想定を上回る増収、地方交付税（普通交付税）の交付等により決算見込みとして、財政調整基金から4億9,357万円の取崩しを予定しています。

令和8年度一般会計当初予算案については、歳出削減および歳入確保に努めてもなお不足する所要の財源のため、財政調整基金から4,800万円を取り崩すこととしました。これにより、令和8年度末で財政調整基金の残高は3億7,429万円になる見込みです。特目基金（使途が特定されている基金）については、様々な行政課題に対応するため18億140万円の繰入れを予定しており、令和8年度末の同基金の残高は30億9,877万円程度になる見込みです。

(主な基金残高等)

基金名称	令和7年度	令和8年度		
	年度末残高見込	積立額	取崩額	年度末残高見込
財政調整基金	4億2,013万円	216万円	4,800万円	3億7,429万円
減債基金	2億5,008万円	125万円	0万円	2億5,133万円
未来につなぐふるさと交竜基金	22億5,391万円	15億1,127万円	18億円	19億6,518万円
教育厚生施設等基金	5億1,613万円	258万円	0万円	5億1,871万円
公共施設維持管理基金	1億4,737万円	74万円	0万円	1億4,811万円

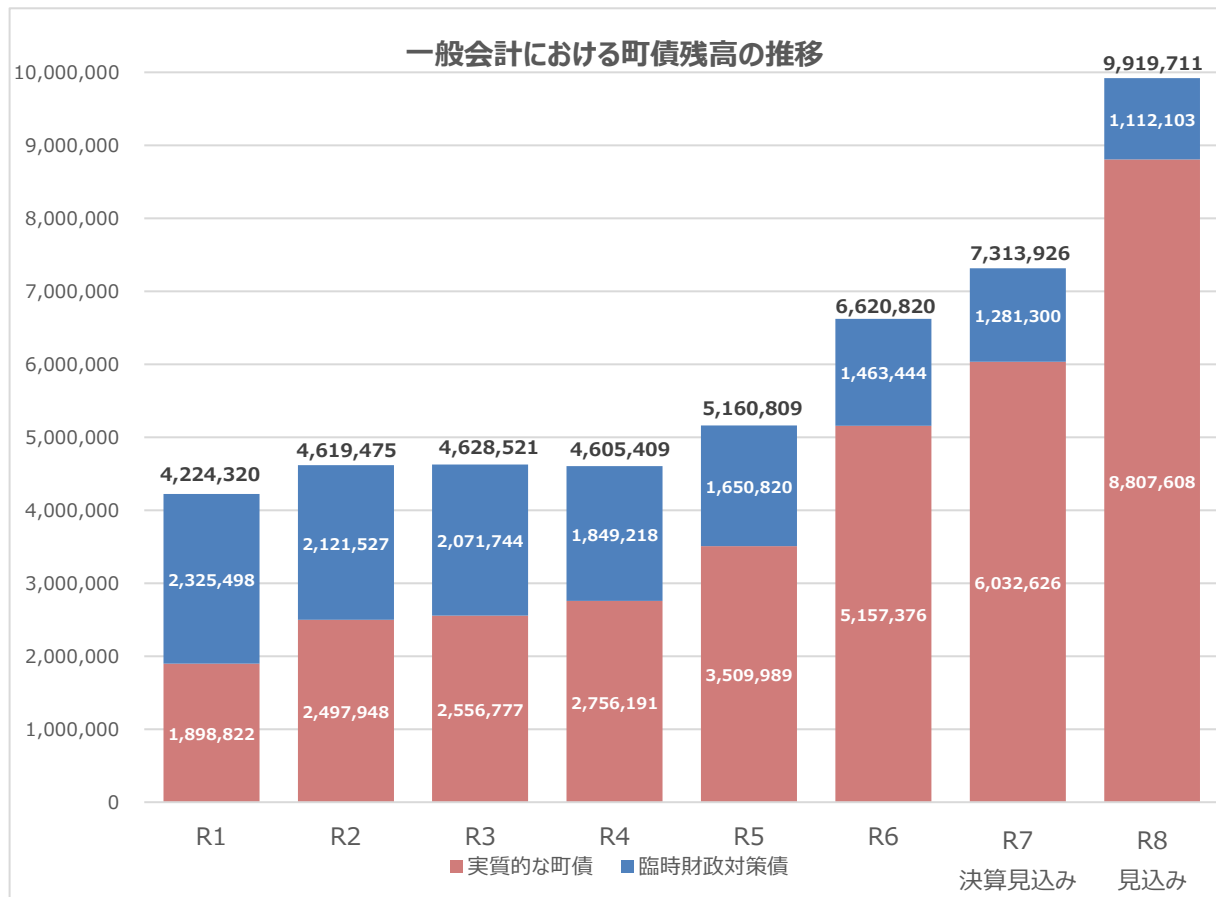
(単位：千円)



町債の残高等

町債発行額は、4億3,300万円で前年度当初予算と比べると20億1,290万円減少しています。この主な要因は、竜王小学校建築工事、学童保育所建築工事等がなくなったことからによるもので、令和8年度末の町債残高は、99億1,971万円で対前年度26億579万円増加となる見込みです。これは令和8年度中に町債を発行する分と、国の補正予算を含めた令和7年度からの繰越事業の追加発行分の増額を見込むためです。

(単位：千円)



令和8年度竜王町の予算

(単位：千円)

会 計 名			令和8年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	前年度比較		令和6年度 当初予算額
					増減額	増減率	
一 般 会 計			9,990,000	12,220,000	△2,230,000	-18.2%	9,100,000
特別 会計	国民健康保険事業（事業勘定）		1,199,700	1,215,800	△16,100	-1.3%	1,252,100
	国民健康保険事業 （施設勘定）	医 科	5,800	3,100	2,700	87.1%	3,100
		歯 科	80,600	61,000	19,600	32.1%	56,000
	学 校 給 食 事 業		63,200	67,600	△4,400	-6.5%	61,700
	介 護 保 険		992,700	992,400	300	0.0%	974,000
	後 期 高 齢 者 医 療		202,200	168,000	34,200	20.4%	162,800
	土 地 取 得		6,340	10	6,330	63300.0%	345,600
	小 計		2,550,540	2,507,910	42,630	1.7%	2,855,300
企業 会計	水 道 事 業		671,726	597,210	74,516	12.5%	704,123
	下 水 道 事 業		953,879	922,379	31,500	3.4%	987,025
	小 計		1,625,605	1,519,589	106,016	7.0%	1,691,148
合 計			14,166,145	16,247,499	△2,081,354	-12.8%	13,646,448

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額

竜王町令和 8 年度（2026 年度）当初予算案概要

一般会計

○歳入歳出予算額	99 億 9,000 万円	（特別会計・企業会計含む総額 141 億 6,614 万 5 千円）
○基金残高	37 億 2,440 万円	（令和 8 年度末一般会計分見込み）
○町債残高	99 億 1,971 万円	（令和 8 年度末一般会計分見込み）

一般会計の主なもの 【新】新規事業 【継】前年度からの継続事業 【拡】前年度から予算額大きく増加する事業

■歳出予算 ※ 1 ～ 3 は第六次竜王町総合計画の基本計画（3 つのまちづくり分野）

1 活力あふれるまちづくり

○中心核整備

- ・交流・文教ゾーンオープン記念事業 600 万円【新】 ・新竜王小学校開校に向けた準備 2,502 万円【継】
- ・交流・文教ゾーンの公園整備、共用駐車場等の整備 4 億 2,702 万円【新】

○産業振興

- ・農業生産基盤整備の戦略的推進 300 万円【新】
- ・企業誘致実施支援業務委託料 520 万円【新】 ・企業・町紹介パンフレット等作成業務委託料 330 万円【新】
- ・ふるさと納税の返礼品等 8 億 6,161 万円【拡】

○地域交通

- ・マイナカードと ICOCA 連携による公共交通利用促進事業費 509 万円【継】
- ・通学定期補助金 1,022 万円【継】 ・夜間特別便運行業務委託料 300 万円【継】
- ・チョイソコりゅうおう関係 1,308 万円【継】

2 安心して暮らせるまちづくり

○子育て支援

- ・小中学校の給食費無償化 4,963 万円【継】 ・こどもの医療費無償化 6,350 万円【拡】
- ・一時預かり事業 478 万円【継】 ・病児保育事業 645 万円【継】 ・妊婦支援交付金 625 万円【継】
- ・就学前児童誕生祝金 384 万円【継】 ・こども新生活応援給付金 45 万円【継】

○教育・スポーツ

- ・小中学校の GIGA 端末更新関連費 8,562 万円【拡】 ・通学安全対策事業（熱中症対策給付金）137 万円【新】
- ・（仮称）ボルダーチャレンジカップ関係費 7 万円【新】

○防災関係

- ・農業用ため池改修工事関係 2,300 万円【拡】
- ・防災資機材（備蓄品含む）や小型ポンプの購入費等 1,090 万円【拡】

○歯科診療所建替関係

- ・歯科診療所整備事業（造成設計費）1,900 万円【新】※国保特別会計（施設勘定・歯科）

3 みんなで進めるまちづくり

- ・未来へつなぐまちづくり交付金 1,602 万円【継】
- ・地域コミュニティ維持・活性化事業 133 万円【継】
- ・デジタル技術を活用した行政サービスの推進 2 億 8,493 万円【拡】
- ・人材育成関連費 656 万円【拡】

■歳入予算 （ ）は前年度当初予算比

- 町税 35 億 5,901 万円（3 億 380 万円増）
- 地方交付税 2 億円（前年度同額）
- 繰入金 18 億 5,555 万円（3 億 6,370 万円減）
- 町債 4 億 3,300 万円（20 億 1,290 万円減）